

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雪エネルギー推進事業
事業主体 (連絡先)	飯山市 飯山市大字飯山1110-1
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	688.160円 (うち支援金: 550,000円)

事業内容

いいやま雪室は、夏でも室内温度は最高で3℃までしか上がらず、冬でも室内温度は最低でも0℃まで届かないため、温度の幅が普通の冷蔵庫よりも小さく、湿度はほぼ100%を維持していることから、さまざまな商品に良い影響をもたらしている。令和2年度に引き続き、当該施設で温度及び湿度の管理や雪室内での商品の管理を行い、商品等の味の変化、出荷時期の延長など、雪室効果の検証を行った。また、ブランド化に向けて、雪室商品のブランディングを行ったほか、同施設内で熟成させた商品のPR活動を実施した。

1. 雪室商品のブランディング

うちわ・シール、くびかけ(ボトルネック)、パンフレットのブランディング商品を作成した。

2. 雪室PR

10月に長野市で開催された産業フェア in 信州でブランディング商品を配布して、多くの北信地域の方々に雪室や雪室商品をPRした。

また、1社のメディア(1取材)を活用し県内の幅広い方々にPRした。

3. 雪室環境整備

雪室内で電気を活用することができるように、環境整備を行った。

事業効果

①事業参加者の増加 R2: 8事業者→R3: 9事業者

雪室の環境整備の実施及び雪室をPRしたことで、利用者が増加した。

当初目標に掲げた10事業者には届かなかったが、雪室への入出庫量が増加し、令和2年度は月1回程度だった入出庫が、令和3年度は1週間に3回~4回も商品を入出庫し、多くの利用者に雪室を活用していただいた。

②統一ロゴマークとブランディング商品の作成

R2: 未作成→R3: 作成(4種類)

産業フェア in 信州で配布し、子どもからお年寄りまで様々な方に興味を持っていただいた結果、イベントが終了した後に、雪室商品を扱っている事業者へ連絡をし、商品を購入する方もいた。

③マスメディアを活用したPR R2: 0回→R3: 3回

当初計画した、市内でのイベント開催に加え、銀座NAGANOでのPRを予定していたが、コロナ禍で中止となり、メディアを活用した雪室のPRを実施した。

また、当初予定していた1社だけでなく、追加で1社(2取材)、合計2社(3取材)のメディアにて雪室のPRを行うことができ、多くの方に知っていただく機会を作った。



【産業フェア in 信州 雪室PR】

【目標・ねらい】

- ①雪エネルギーの活用
- ②地域の農産物、商工品目の有利販売
- ③未利用市有施設の活用

※自己評価【B】

【理由】

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内外・県内外で雪室のPRが限られている中、雪室のブランディングを行い、産業フェア in 信州やマスメディアを活用して雪室をPRすることができた。また、市内の小売店等でも雪室熟成酒や雪室熟成そばの販売を実施することができた。さらに、雪室施設の環境整備を行い、利用者がより一層、雪室を活用しやすい環境を整えた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

これまでは、雪室で貯蔵したものを商品化し、特産品にすることはできないかという趣旨のもと、多くの利用者にご協力していただき試験的に行ってきた。今後については、雪室の維持管理や商品のPRにかかる経費を使用者から協力金としてお金をいただき、活用させていただく方針である。また、雪室に貯蔵したものを商品化し、特産品にするために、さらなる研究をし、今年度の酒やそばのように市内の小売店等で販売していきたい。これに加えて、今年度実施できなかった真夏のいいやま雪室体験会も実施し、多くの方々により一層、雪室や雪室商品を知っていただくために事業を推進していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある